

授業科目名	教育原論Ⅱ	担当教員	嘱託講師 中島 千恵		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義（集中）とディスカッション	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<p>社会変化は激しい。児童生徒、保護者、教育関係者も制度改革を含め大きな変化に向き合っている。教育実践においても配慮しなければならない多様な教育的要素が加わっている。教育関係者は様々な改革の波にさらされてきた。変化が激しい時ほど、実践の指針となる思想や基本理念が重要になる。本講義では近年における教育制度、学習指導要領の改訂を踏まえ、教育の意義や本質、公教育制度の基本理念や重要な教育思想を学び、人の学びと学校教育について理解を深める。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義、目的、本質的働きを理解している。 2. 教育の歴史的変遷と多様な教育思想との関わりについて理解している。 3. 児童・学校・教育実践に関わる代表的な教育思想についてキーワードを書ける。 4. 新学習指導要領の基本的思想と理念がわかり、教育実践との関わりを考察できる。 5. 校種間連携、学校・家庭・地域の連携の基本的理念を理解している。 6. 現代教育課題の歴史的背景を理解し、多様な観点から考察できる。 					
キーワード					
教育の本質、教育思想、児童観、公教育、学習権の保障、特別支援教育、移動する子ども達					
授業の進め方					
この授業は毎回ひとつのテーマに沿って講義形式で進めますが、グループワーク、ジグソー法によるディスカッション、ペアティーチングなど、多様な協働的学習方法を取り入れます。					
成績評価の方法（合否基準）					
<p>毎回の授業に関する課題（80%）、授業中の提出物と宿題（20%） 定期試験はしないが最終日に課題の提出を求める。そのため14回の授業に加え定期試験の時間を越えない範囲で課題完成のための時間を確保する。</p>					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
<p>テキスト：文部科学省、新学習指導要領解説、平成29年（ウェブ上でも入手できる） その他に特に指定しないが、授業中に紹介する参考文献を読むように。 参考書：田中、越後、中島編著『改訂 未来に生きる教育学：変動期の教育の構築』 あいり出版、2018年 その他、授業中に随時、紹介または配布する。</p>					
オフィスアワー					
集中講義ですので、授業中にできなかった質問などは毎日、授業終了後に受け付けます。					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					

授業計画

回	テーマ	授業内容	担当者
1	イントロダクション、 教育の社会的機能	授業の目的、課題、評価基準などの説明と確認。 教育が社会でどのような機能を果たしているか考察する。	中島
2	教育とは何か	意図的教育、無意図的教育、人生における教育について考える。	中島
3	教育の必要性和可能性	教育の必要性を個人と社会の両面からとらえ、 教育の可能性をさぐる。	中島
4	教育の本質的要素	発達の援助、文化財の伝達、良心の覚醒、幸福追求の 4側面から学ぶ。	中島
5	現代教育の思想的源流と子ども観	現代の教育の基本にある思想と児童観について学ぶ。	中島
6	日本における近代的学校の誕生と 思想	日本における近代的学校と義務教育制度の成立の歴史と 思想を学ぶ。	中島
7	公教育制度を支える仕組みと思想	誰もが均しく教育を受けられるようにするための思想と 仕組みについて学ぶ。	中島
8	グローバル化時代の教育目的と能 力・資質	Society 5.0, 人生100年時代を迎え、培うことが期待される 資質・能力そしてスキルについて考える。	中島
9	特別支援教育の基本理念	障害のある児童のための教育の基本理念と目指す社会に ついて学ぶ。	中島
10	道徳はいかに教えられるのか	「特別な教科 道徳」の基本理念を説明し、道徳教育の 在り方について理解を深め、考察する。	中島
11	校種間連携、学校・家庭・地域の 連携	新しい学校種や学校・家庭・地域の連携を推進する 仕組みと教育実践の変化について学ぶ。	中島
12	グローバル化する世界で移動する 子供たち	親とともに世界を移動する子ども達が出会いがちな困難と 必要な教育と支援について考える。	中島
13	教育方法に関する思想と基本原 理	教育効果がある教育方法に関する理論を説明する。	中島
14	生涯学習と支援者の役割	生涯学習の理論を学び、生涯学習と学校教育との接点、 生涯学習の支援者の役割について理解を深める。	中島
備考			